

千一ム金剛中だより

令和8年6月号

寺池台一丁目1番1号 0721-29-1404



発行責任者 校長 西岡 隆

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/>

～ 努力は必ず報われる ～

みなさんは、テストや試合の後に「もっとこうしておけば、努力が足りなかった・・・」と思ったことはありませんか？

そう感じたことがある人は、すでに成長への第一歩をふみ出しているかもしれません。

努力するということは、ただ「がんばること」ではありません。

「わからないことを、わかるようにする」「できないことを、できるようにする」、そのために「続ける」こと、それが「努力」するということです。

例えば、自転車に初めて乗ったときのことを考えてください。最初は何度も転びながらも、少しずつバランスを覚え、やがて乗れるようになります。これと同じで、「わからない・できない」⇒「やってみる」⇒「まちがえる・失敗する」⇒「もう一度やってみる」、このくり返しこそが大切です。



そして、それ以上に大切なことは、「努力して、実際にできた経験」は、「自信」になるということです。なぜなら、そうやって自分を信じることができれば、失敗をおそれず、次の新しいことに挑戦できるようにもなるからです。

だから、テストや試合の結果を見て「努力が足りなかった」と思った人は、「何が足りなかったのか」「どこを直せばもっとよくなるのか」と、これまでの取り組みを振り返り、過去の自分としっかり向き合うことができている人です。それは、まさに次の一步をふみ出そうとしている状態だといえるのです。

結果が思い通りにならないことはたくさんあります。それでも、すぐにあきらめたり、誰かのせいにしてしまったりしないでください。すぐに結果が出なくても大丈夫。今、続けている「努力」は、必ずこれからのみなさんの未来を切り拓く、大きな力になります！

「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功した者は必ず努力している」(ベートーヴェン)

※※※ スタンフォード大学心理学部キャロル・S・ドゥエック教授の研究を紹介します ※※※

①「頭が良いね」と、“能力”をほめた場合

⇒次も良い結果を出せるように簡単な課題を選ぶようになり、間違っってしまうような問題はやりたがらなくなる。失敗したら「努力不足」ではなく、「自分には能力がない」と思うようになる。

②「よく工夫して解こうしたね」や「毎日、計画的に勉強できたね」と、“努力”や“過程”をほめた場合

⇒「努力すれば結果は変わる」と思うようになる。難しい問題があっても「もっと努力しよう」と考えることができるようになり、いろんなことにチャレンジできるようになる。

6月の行事予定

日	曜	給食	部活	行事
1	月	○	×	職員会議 教育実習(～19日)
2	火	○	○	
3	水	○	○	
4	木	○	○	
5	金	○	○	
6	土			
7	日			
8	月	○	×	会議日
9	火	○	○	
10	水	○	○	
11	木	○	○	歯科検診9:00～, 胸部X線13:00～ 5限:3年前日諸注意
12	金	①××	○ 3年なし	3年修学旅行(沖縄) 2年校外学習
13	土			3年修学旅行(沖縄)
14	日			3年修学旅行(沖縄)
15	月	①②×	○	水曜の時間割(50分×6) 3年代休
16	火	①②×	○	3年代休
17	水	○	×	月曜の時間割(50分×5) 放:委員会活動
18	木	○	○	<45分×6> 放:カウンセリング①
19	金	○	×	<45分×6> 教育実習最終日 放:カウンセリング② テスト1週間前部活動停止
20	土		×	
21	日		×	
22	月	○	×	会議日
23	火	○	×	<45分×6> 放:カウンセリング③
24	水	○	×	テスト前補充
25	木	○	×	テスト前補充
26	金	×	×	期末テスト①
27	土		×	
28	日		×	
29	月	×	×	期末テスト②
30	火	×	×	期末テスト③

1年宿泊学習について

5/22(金)～23(土)に、ハチ高原へ宿泊学習に行きました。22(金)はあいにくの天候でしたが、2日間を通して、みんなで協力し、けじめをつけてテキパキと行動することができていました。
朝早くから、さまざまなご準備をいただき、誠にありがとうございました。

7月9日(木)10日(金)13日(月)14日(火)15日(水) 期末懇談会

7月17日(金)1学期終業式